

### 【趣旨】

公共交通は、都市計画やまちづくり、地域づくり、福祉といった施策に密接に関連するものであり、本市は、平成22年に「津山市地域公共交通総合連携計画」、平成29年に「津山市地域公共交通網形成計画」を策定し、あり方や方策検討を行い、利用環境の向上や維持に努めてきました。

しかし、公共交通の利用者は、人口減少、モータリゼーションの伸展、新型コロナウイルス感染症のまん延等のため減少傾向であり、運行する事業者は、企業体力の低下、運転手の高齢化や担い手不足、感染症対策などに頭を悩ませています。

かたや、免許返納やSDGs、DX・ICTなどの新たな社会的要請から、公共交通に新たな対応が求められています。

このような状況を踏まえ、本市の公共交通のマスタープランを定めるべく、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律（平成19年法律第59号）に基づき、津山市地域公共交通計画を策定を予定しています。

本計画の策定にあたって、津山市地域公共交通会議を計画策定するための法定協議会と位置付けます。

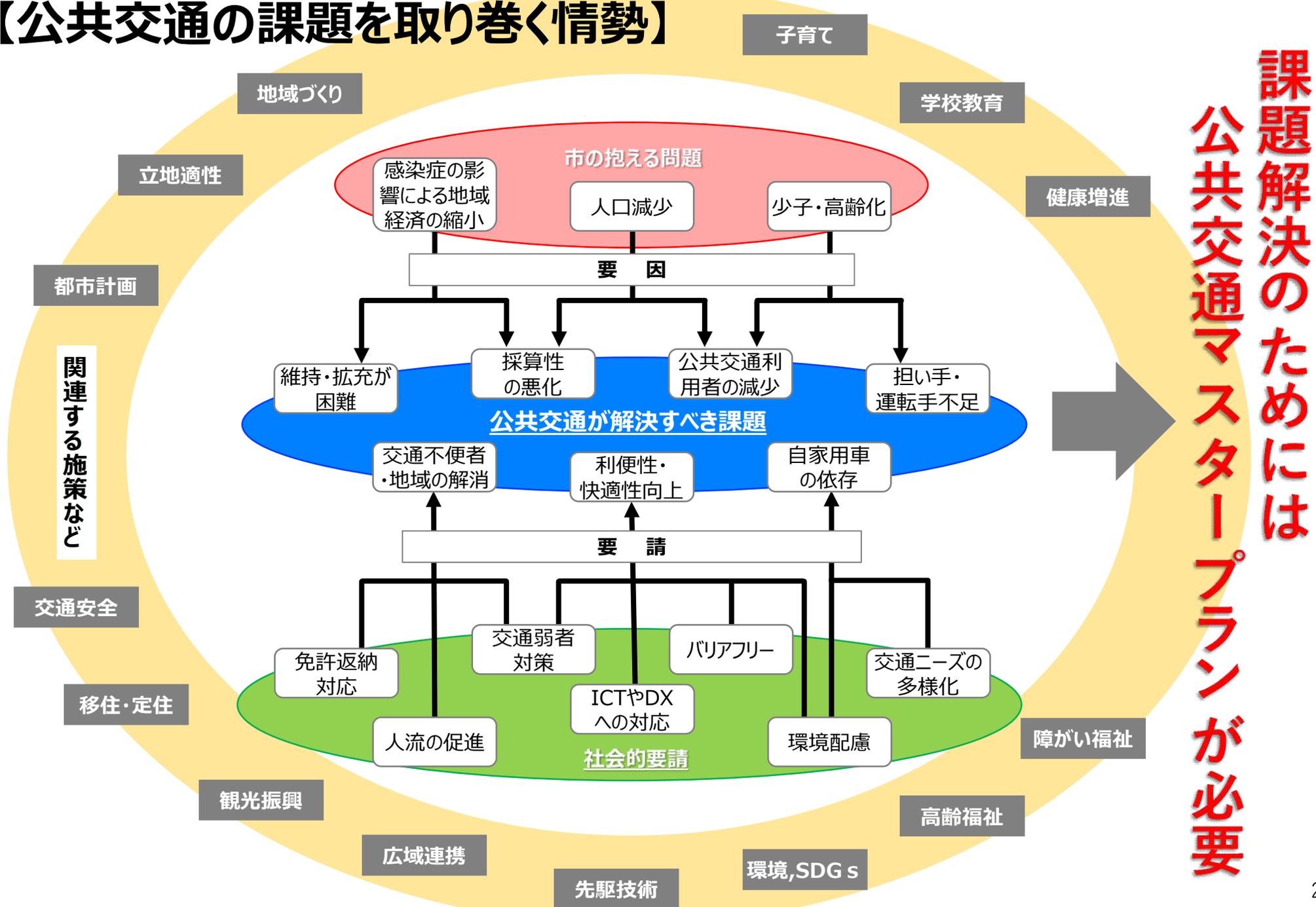
### 【策定スケジュール案】

令和4年5月	地域公共交通会議を法定協議会化
令和4年6月	計画策定支援業務の予算化
令和4年7月	計画策定支援受託事業者の選定
令和4年8月～	地域公共交通計画の策定実施 公共交通会議による計画案の協議（全4回程度想定、その他分科会開催を想定）
令和5年1月	パブリックコメント（意見公募）の実施
令和5年3月	計画策定完了
令和5年4月	計画公表

### 【その他】

- ・公共交通会議を法定協議化するにあたり、**会計機能を付与**します。そのため、委員の中のお二人に「**監査役**」をお願いする予定です。
- ・計画策定支援受託事業者の選定にあたり、一部の委員の方に「**選定委員**」をお願いする場合がございます。
- ・2ページから4ページはあくまで現時点でのイメージ案です。

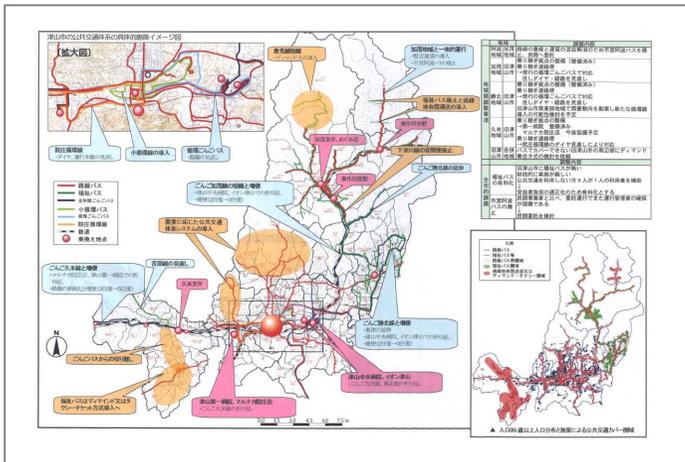
# 【公共交通の課題を取り巻く情勢】



課題解決のためには  
公共交通マスタープランが必要

# 【本市の公共交通に関する計画の変遷】

## 津山市地域公共交通総合連携計画 (H22.4~H25.3)



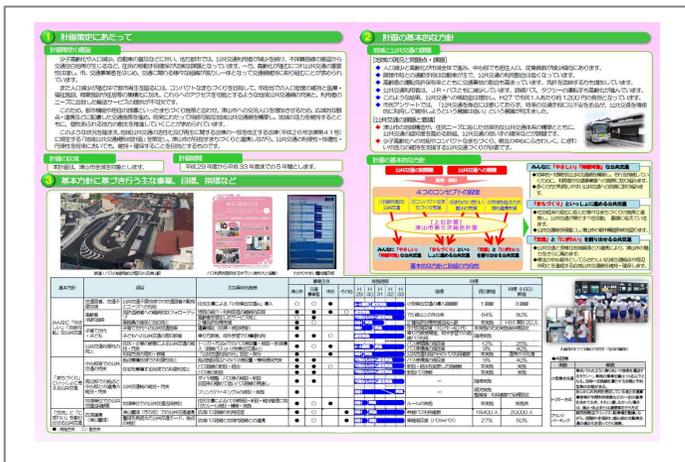
### 【目標・方針】

- ・幹線と支線を明確化し効率的運行体系を構築
- ・競合路線、混在運賃の是正
- ・抵抗の少ない乗り継ぎの工夫
- ・「乗って残すバス路線」への理解と啓発

### 【実施事業】

- ・市内バス乗り継ぎ拠点の整備 (イオン、マルナカ等)
- ・福祉バス (無料) から地域巡回バス (有料) へ
- ・乗り継ぎを前提としたごんごバス路線の再編
- ・阿波地域での有償運送導入
- ・スクールバス混乗化 など

## 津山市地域公共交通網形成計画 (H29.4~R4.3)



### 【目標・方針】

- ・持続可能な公共交通への取り組み
- ・公共交通軸の明確化
- ・バリアフリー車両の導入など利用しやすい公共交通
- ・まちづくりとの連携
- ・県北中心市としての広域公共交通網の維持・確保

### 【実施事業】

- ・津山駅広場整備に伴う、バスダイヤの整理
- ・公共交通利用の日イベント実施
- ・ごんごバスへの低床バス車両導入
- ・ごんごバスの鏡野町への延伸
- ・小型乗合交通の社会実験 など

# 津山市地域公共交通計画

# の策定



## 【基本方針のイメージ①】

みんなに  かわれる

みんなへ  さしい

みんなの  ちを元気づける

# 公共交通をめざします！

# 【基本方針のイメージ②】

方針

考え方

関連施策・ワード

**つ**かわれる  
(使われる)

交通方策・手法

周知や利便性向上、新しい技術など**公共交通資源**や**手法**に応じた**交通方策**を考える

調査・周知・広報  
利便性向上技術・先駆的技術  
公共交通空白地  
公共交通資源（物、人、金） etc.

**や**さしい  
(優しい・易しい)

利用者目線

想定される**利用者の属性**に応じた**交通方策**を考える

高齢者、障がい者  
妊産婦、学生・生徒  
免許返納者、来街者  
ライト・ヘビーユーザー etc.

**ま**ちを元気に  
(活性化)

他施策連携

地域・まちづくり、観光振興など**活性化施策**に**寄与する交通方策**を考える

地域づくり、中心市街地活性  
観光、福祉、移住・定住、  
教育、交通安全、民間活力、  
定住自立圏、中枢都市連携 etc.

※それぞれの項目が独立して、交通方策を考えるのではなく、複合的に事業を検討し、内容、目標、指標を決定していく。

令和 3 年度に実施した津山市地域公共交通会議の内容は、以下のとおりです。

## 事業報告

【第 1 回津山市地域公共交通会議 書面審議】令和 3 年 5 月 28 日

付議事項 1 生活交通確保維持改善計画（地域内フィーダー系統確保維持事業）について

→津山市生活交通確保維持改善計画（令和 4 年度～令和 6 年度）の素案について審議いただき、承認

付議事項 2 津山市地域公共交通網形成計画の延長（令和 4 年度末まで）について

→平成 29 年度から令和 3 年度までの 5 箇年となっている、津山市地域公共交通網形成計画の計画期間を令和 4 年度末まで延長することについて審議いただき、承認

付議事項 3 小型乗合交通（グループタクシー）実証実験について

→令和 2 年度に福田地区で実施した実証実験について、期間が短かったことから、今年度再度実施すること、また、新たに 2 地区で実施することについて審議いただき、承認

付議事項 4 ごんご加茂線のバス停新設及びフリー乗降区間の変更について

→ごんご加茂線の公郷バス停は交通量の多い県道の河川側にあり、乗降が危険なため、旧道に入った位置にバス停の新設。また、新設に伴うフリー乗降区間の延長について審議いただき、承認

付議事項 5 亀甲・津山線の運行時刻の変更について

→J R 津山線との接続に時間を合わせるための運行時刻の変更を審議いただき、承認

付議事項 6 亀甲・津山線の運賃の変更について

→美咲町が平成 30 年から実施している「夏休み中学生向け割引」の提案について審議いただき、承認

付議事項 7 津山市地域公共交通会議の会長及び副会長の選出について

→令和 3 年 5 月 31 日の任期満了に伴い、新たに会長及び副会長の選出を行い、事務局から、会長に津山市副市長 山田賢一氏、副会長に美作大学 蜂谷俊隆氏を提案し、審議いただき、承認

報告事項 1 さくらまつり臨時運行バスの結果について

→さくらまつり期間中のごんご小循環線臨時線のバスルート変更について、報告

報告事項 2 津山圏域定住自立圏共生ビジョン懇談会委員の推薦について

→津山圏域定住自立圏共生ビジョン懇談会の委員について、中山委員を推薦

令和 3 年度に実施した津山市地域公共交通会議の内容は、以下のとおりです。

## 事業報告

【第 2 回津山市地域公共交通会議 書面審議】令和 3 年 10 月 1 日

付議事項 1 令和 4 年度津山市地域公共交通計画の策定（継続計画）及び法定協議会について

- ➔令和 5 年 3 月末をもって計画期間が終了する「津山市地域公共交通網形成計画」の後継計画として、「津山市地域公共交通計画」を令和 4 年度に策定すること、また、「津山市地域公共交通会議」を計画策定のための法定協議会に位置付けることについて審議いただき、承認

付議事項 2 OD アンケート調査の実施と地域公共交通網形成計画の事業評価について

- ➔「津山市地域公共交通計画の基礎調査」及び「地域公共交通網形成計画事業評価の評価指標」の一部として、OD アンケートの実施についてご審議いただき、承認

報告事項 1 第 2 種免許取得支援事業の再開について

- ➔津山圏域公共交通連絡協議会（津山圏域定住自立圏）で、公共交通事業者の第 2 種免許取得支援事業を令和 3 年度から 2 年間の事業として再度実施することを報告

報告事項 2 小型乗合交通（グループタクシー）事業について

- ➔福田地区での実証実験の再実施に加え、上高倉地区、油木地区（油木北、油木上、油木下）において、公共交通に関するアンケート調査を実施。上高倉地区において、10 月中旬からの実証実験を実施することを報告

報告事項 3 津山市公共交通等運行継続支援助成事業の実施について

- ➔緊急事態措置やまん延防止等重点措置のため、非常に厳しい状況にあるバス・タクシー事業者に対し、令和 2 年度に引き続き、運行継続支援助成事業を実施することを報告

【第 3 回津山市地域公共交通会議】令和 3 年 12 月 20 日

付議事項 1 地域公共交通確保維持改善事業の評価について

- ➔令和 3 年度地域公共交通確保維持改善事業の実績に対する、評価（案）について審議いただきました。会議において、評価基準の設定について、評価対象期間の設定が適切であるかのご意見をいただいたので、評価期間が異なるもので検証し、改めて付議させていただく。

令和3年度に実施した津山市地域公共交通会議の内容は、以下のとおりです。

## 事業報告

付議事項2 一般乗合旅客自動車運送事業（区域運行）の運賃変更について  
（津山・岡山空港線デマンドタクシーの設定運賃（料金）額の変更）

- ➔勝田交通(株)が運行する、津山・岡山空港デマンドタクシーの運賃変更について審議いただき、承認  
追加資料として、運賃変更の根拠となる資料を配布

報告事項1 グループタクシー事業について

- ➔3地区（福田地区、上高倉地区、油木地区）の利用登録状況と利用状況について、今後の取組について報告

報告事項2 期間限定小循環線バスルートの変更について

- ➔令和4年春のさくらまつり期間に合わせ、（3月20日、21日、27日、4月3日、10日）に小循環線のルートを  
津山観光センター～津山駅～津山まなびの鉄道館間のピストン運行に変更

報告事項3 年末年始のバスダイヤについて（中鉄北部バス(株)）

- ➔中鉄北部バス株式会社より、路線バス等の年末ダイヤ及び正月ダイヤの変更について報告

【第3回津山市地域公共交通会議 書面審議】令和3年12月22日

付議事項1 地域公共交通確保維持改善事業の評価について（再審議）

- ➔評価期間の設定について、当初提案通り直近3ヶ月の数値を令和元年の同月比とすることについて審議いただき、承認

福田地区・上高倉地区におけるグループタクシー実証実験（令和3年7月～令和4年1月）の事業報告及び実証実験後のアンケート集計内容について報告いたします。

## 事業実績

- 【福田地区】152世帯323人 実施期間：令和3年7月30日～令和4年1月31日  
登録者：39人（6グループ） 利用者：3人（利用回数：32回）
- 【上高倉地区】122世帯334人 実施期間：令和3年10月1日～令和4年1月31日  
登録者：26人（4グループ） 利用者：2人（利用回数：5回）  
年代別利用者数：50代1人 60代1人 70代1人 80代1人 90代以上1人

## アンケート集計内容

- 令和4年2月8日～2月18日：グループタクシー全登録者（福田地区・上高倉地区）へアンケート調査実施
- ・福田地区：39人中26人から回答（回収率72.2%）うち、利用者2人 未利用者24人
  - ・上高倉地区：26人中12人から回答（回収率46.2%）うち、利用者0人 未利用者12人
- 年代別回答者数：40代1人 50代4人 60代10人 70代8人 80代11人 90代以上2人 年齢不明2名

### 【グループタクシー利用者へのアンケート結果】

- ・今後も利用したいか：利用したい（50%）「(理由)送迎を頼める人がいないから」等（免許非所有者）  
わからない（50%）（免許所有者）
- ・免許返納後の移動方法について：タクシーで移動（100%）

### 【グループタクシー未利用者へのアンケート結果】

- ・利用しなかった理由：他の移動手段があるから（78%）助成額が安く自己負担が多い（44%）
- ・期間中の主な移動方法：自家用車を運転（免許所有者）、家族送迎・施設送迎（免許非所有者）
- ・今後も利用したいか：利用したい（31%）利用しない（44%） わからない（25%）

### 【まとめ】

油木地区のアンケート調査が出揃った後、改めて内容及び検証結果を報告いたします。

令和3年度に実施した公共交通会議以外の事業は、以下のとおりです。

## 事業報告

令和3年3月28日	} こんごバス小循環線臨時便の運行（さくらまつり期間中の日曜日）
4月4日	
11日	
令和3年4月1日	第二種免許取得支援事業の実施（津山圏域公共交通連絡協議会事業） 津山圏域1市5町において、令和3年度、4年度事業として実施
令和3年6月22日	令和3年度事業 岡山県立図書館展示「公共交通を利用しよう」
～7月18日	資料協力（岡山県県民生活交通課事業）
令和3年7月24日	鉄道館ナイトフェス ローカル鉄道利用促進活動（啓発チラシ等配布）
令和3年7月25日	上高倉地区 公共交通利用者アンケート実施
～8月13日	
令和3年7月28日	福田地区 小型乗合交通（グループタクシー）実証実験開始
令和3年8月14日	大雨警報発令による市内バス、鉄道の運休（JR津山線・姫新線・因美線、市営阿波バス）
令和3年8月24日	油木地区 公共交通利用者アンケート
～9月8日	
令和3年9月22日	津山市公共交通等運行継続支援助成事業の実施
令和3年10月1日	こんご加茂線 正念寺バス停新設及びフリー乗降区間の変更（正念寺～駅見橋入口）
令和3年10月1日	上高倉地区 小型乗合交通（グループタクシー）実証実験開始
令和3年10月下旬	OD調査（Origin（出発地）-Destination（目的地）調査）の実施 市内1000世帯に2枚ずつ配布 11月10日の移動動態調査
令和3年11月1日	油木地区 小型乗合交通（グループタクシー）実証実験開始
令和3年11月6日	鉄道館ナイトフェス ローカル鉄道利用促進活動（啓発チラシ等配布）
令和3年12月17日	公共交通乗り方教室の開催案内（津山市公民館長会議）

施策の目標一覧 (評価: ○「目標達成」△「目標には達していないが、実施あるいは着手」×「未実施あるいは着手困難」)

基本方針	分類	主な具体的施策	項目	No.	現況		目標		把握方法		評価				備考	
					年次	数値等	年次	数値等	把握主体	方法	評価	年次	数値			効果
みんなに「やさしい」「持続可能」な公共交通	交通弱者、交通不便地域	住民主導による「小型乗合交通」の導入(セダン型orワゴン型)	小型乗合交通の実施	1-1	H28	1路線	H33	3路線	津山市	報告	△	R3.9時点	2路線(阿波交通空白地有償運送、福田地区グループタクシー社会実験)	検証実施継続中	新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、効果が正当に反映されるか不明	
	高齢者(免許返納)	特典の紹介・利用促進の継続的な広報 高齢者を想定したサービスの向上	75歳以上の外出率	1-2	H28	64%	H33	80%	津山市	アンケート調査	×	R3.11実施	49.9%		コロナ禍による影響と推測	
	供給から見た公共交通	イベント等での市内事業者の優先利用(路線、貸切)とその呼びかけ	イベント時の情報提供	1-3	随時実施				津山市 交通事業者	報告	○	R3.9時点	H29年度1回 H30年度2回 H31年度2回	・数値的效果は不明 ・イベント主催者によるバス利用の呼びかけは定着	図書館まつり、ガレージセールなどで実施。R2年度は感染症の影響により未実施。	
				1-4	随時実施						×	—	着手困難		感染症による影響のため、ほとんどのバス路線が低収益に	
		2種免許取得支援	2種免許取得支援活用人数	1-5	H28	未実施	H31	累計20人	交通事業者	実績報告	○	R2.3完了	累計22人	津山圏域内バス・タクシー運転手の平均年齢低下	R3年度から制度再開中	
	子育て世代・子ども	運賃補助(妊婦・検診時等)	年代別満足度(10~40代)	1-6	未実施のため、実施後目標設定				津山市	アンケート調査	×	—	未実施		未実施のため、目標設定できず	
		乗り方教室、校外学習での積極利用	乗り方教室開催、校外学習での路線バス利用	1-7	随時実施				津山市	報告	○	R3.9時点	H31年度4回	参加者に好評で、意識付けの効果有り	R2年度は感染症の影響により未実施。	
	公共交通利便性の向上	トリガー方式によるバス停設置・移設 新規路線新設(路線バス・小型乗合交通)	バス停間隔の満足度	1-8	H28	12%	H33	25%	津山市	アンケート調査	△	R3.11実施	15%	9%	不満足は29%→24%に低下	改善は見られるが、目標達成までには至っていない(満足度↓ 不満足!)
			バス停環境の満足度	1-9	H28	9%	H33	40%								
		電光掲示板・バスロケ・バスマップ(紙)	電光掲示板設置箇所数	1-10	H28	2	H33	累計10	津山市	—	△	R3.9時点	累計6箇所(簡易式含めると9箇所)	利用者からの不満なし	これ以上の設置は困難。圏域にて紙バスマップ作成実施	
	公共交通利用促進	ダイヤ調整	乗継満足度(JR⇄バス)	1-11	H28	26%	H33	50%	津山市	アンケート調査	△	R3.11実施	22%	21%	不満足は26%→6%に低下	改善は見られるが、目標達成までには至っていない(満足度↓ 不満足!)
			乗継満足度(バス⇄バス)	1-13	H28	27%	H33	50%								
		車両、駅舎のバリアフリー化 バス停等の改善、運転の気配り	市民満足度調査	1-14	H27	45.7点	H33	70点以上	津山市	アンケート調査	△	R2.6実施	47.6点	微増	ごんごバスの車両更新実施。JR津山駅バリアフリー工事中。	
			バスマップ配布	1-15	再編が進んだ時点で作成配布				津山市	—	△	R3.9時点	定住自立圏事業として実施	利用増加効果は不明		
		モビリティマネジメント(公共交通網の必要性、使い分け等)	1-16	機会を捉え随時実施				津山市	—	×	—	未実施				
		「公共交通利用の日」の設定・実行	公共交通利用の日のバス利用者数	1-17	H28	未実施	H33	通常の5%増	交通事業者	報告	△	R3.9時点	H29年度実施	効果測定できず		
		企業・施設の案内(HP、パンフレット等)での公共交通アクセスの記載推奨	1-18	機会を捉え啓発を随時実施				津山市	—	○	R3.9時点	随時実施済み	数値的效果は不明	企業向けバスタイヤ表送付、観光案内所等での公共交通PR掲載実施など		
		ごんご小循環線の再構築	再編後のごんご小循環線利用者数	1-19	再編後設定				交通事業者	—	×	—	未実施		再編は未実施だが、観光路線として運行実験をR3.3~4に実施	
		バス路線の再編・交通モードの検証	住民主導によるバス停移設・新設・維持管理(トリガー方式による)	実施箇所数	1-20	H28	未実施	H33	累計10箇所	津山市	—	×	—	未実施		
	ダイヤ調整、バリアフリー化、情報提供の充実		津山駅北口の満足度	1-21	H28	未実施	R2	実施	津山市	アンケート調査	○	R2.3	60.3%が「満足」「少し満足」と回答	「どちらともいえない」25%「あまり満足していない」10%「不満足」4.7%	駅バリアフリー化はJRがR3年度から着手	
	「まちづくり」と一緒に考える公共交通	中心部等での公共交通の充実	拠点施設周辺へのバス停設置・情報提供充実	バス停環境の満足度	2-1	H28	9%	H33	40%	津山市	アンケート調査	△	R3.11実施	9%	不満足は29%→24%に低下	改善は見られるが、目標達成までには至っていない(満足度↓ 不満足!)
バス路線の新設・経由			新設・経由を変更した路線数	2-2	H28	未実施	H33	実施	交通事業者	報告	○	R3.9時点	実施(経由地変更4路線)	利便性向上	ごんご小循環線、ごんご勝北線、ごんご西循環線、勝間田線	
バス停の新設			新設バス停数	2-3	H28	未実施	H33	実施	交通事業者	報告	○	R3.9時点	実施(新設2箇所)	利便性向上	ごんご加茂線、ごんご勝北線	
周辺部での拠点と中心部との連携の維持・充実		ダイヤ調整 バス停の移設・新設 収益率の極めて低いバス路線の見直し	1-4	随時実施				交通事業者	実績報告	○	R3.9時点	実施(毎年ダイヤ調整実施)	利便性向上	毎年ダイヤ調整は実施		
		フリッジパーキングの整備検討・実施	2-4	順次実施				津山市	進捗報告	×	—	未実施				
地域単位での公共交通活用計画	住民主導によるバス停移設・新設・維持管理に向けたルール検討・構築・実施	実施箇所数	1-20	H28	未実施	H33	実施	津山市	—	×	—	未実施				
「交流」と「にぎわい」を創り出せる公共交通	魅力あるまち「津山」	観光施設への公共交通利用案内の掲載	3-1	随時実施				津山市	—	○	R3.9時点	実施	数値的效果は不明	観光案内所その他で掲載実施		
		イベント時における公共交通利便性向上・PR	1-3	随時実施				津山市	—	○	R3.9時点	実施	数値的效果は不明	さくらまつり等でPR実施		
	広域連携(岡山市)	津山側の2次アクセス改善	乗継満足度(JR⇄バス)	1-11	H28	26%	H33	50%	津山市	アンケート調査	△	R3.11実施	22%	21%	不満足は26%→6%に低下	改善は見られるが、目標達成までには至っていない(満足度↓ 不満足!)
			乗継満足度(バス⇄バス)	1-13	H28	27%	H33	50%								
	広域連携(津山圏域)	広域バス路線の利用促進	幹線バス利用者数	3-2	H28	18,400人	H33	20,000人	交通事業者	実績報告	×	—	未実施		定住自立圏内にて、利用促進施策を協議中	
		広域バス路線と地域内路線との連携	乗継満足度(バス⇄バス)	1-13	H28	27%	H33	50%	津山市	アンケート調査	△	R3.11実施	21%	不満足は27%→6%に低下	改善は見られるが、目標達成までには至っていない(満足度↓ 不満足!)	
	市外からの利用者	多言語による情報提供	電光掲示板設置箇所数	1-10	H28	2	H33	累計10	津山市	—	△	R3.9時点	累計6箇所(簡易式含めると9箇所)	利用者からの不満なし	言語対応は英語のみ	
施設側での情報提供		電光掲示板設置箇所数	1-10	H28	2	H33	累計10	津山市	—	△	R3.9時点	累計6箇所(簡易式含めると9箇所)	利用者からの不満なし	言語対応は英語のみ		

事務局では、令和4年度の公共交通会議を下記のスケジュール案で進めてまいりたいと考えております。

	開催予定時期	協議予定など
第1回	令和4年5月中旬	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域公共交通会議の法定協議会化について</li> <li>・地域公共交通計画の策定準備について</li> <li>・令和4年度 公共交通維持確保改善計画の協議・承認（バス運行等の国庫補助申請に必須）</li> <li>・令和4年度 各事業の審議</li> <li>・令和3年度 ODアンケート調査結果の報告</li> <li>・その他 バス路線に係る事項</li> </ul>
第2回	令和4年9月中旬	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域公共交通計画（案）の協議及び進捗について</li> <li>・令和4年度 各事業の審議</li> <li>・その他 バス路線に係る事項</li> </ul>
第3回	令和4年12月中旬	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域公共交通計画（案）の協議及び進捗について</li> <li>・令和4年度 公共交通維持確保改善計画の事業評価（国庫補助路線となっているバスの評価）</li> <li>・その他 バス路線に係る事項</li> </ul>
第4回	令和5年3月中旬	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域公共交通計画の策定について</li> <li>・令和4年度 事業の総括、評価、見直し</li> <li>・令和4年度 事業のアナウンス、スケジュールなど</li> <li>・その他 バス路線に係る事項</li> </ul>

地域公共交通計画（案）の協議のため、上記公共交通会議のほか「会議」「幹事会」「分科会」を必要に応じて開催いたします。

注1) 審議は、年間4回を予定しておりますが、回数や時期が変更、増加する場合があります。

注2) 緊急時や軽微な付議案件については、持ち回りや文書による審議を実施することがあります。